弓道部の紹介

弓道種目について

弓道は２８ｍ先の丸い的（直径 36㎝）を１人が１回に４射し、その的中数を競う競技です。団体競技は１チーム３人（計１２射）または５人（計２０射）単位で行われます。現在、春に行われる全国選抜大会は３人団体、夏に行われる全国高校総体は５人団体で実施されています。個人戦は、県内から団体戦男女各１校、個人戦男女各２名が全国大会に参加できます。

出雲高校弓道部について

高校弓道日本一を目指して、毎年約３０名の部員で活動しています。競技の性質上、激しい練習は不要で、疲労も少なく、出雲高等学校の学業との両立は十分に可能です。適宜休日も設け、各種テスト前は原則休みとしています。

部員全員が出場できる大会が県大会２回、市大会３回あり、代表選手として選ばれるとさらに県大会３回、中国大会・全国大会に出場します。コロナ禍以前は、年間３回の県外練習会にも参加していました。

弓道の練習を通して、人としての正しい道を互いに考えながら生活し、特に挨拶・礼儀に気を配りながら、何事にも自主的な取り組みができるよう心がけています。また、清掃にも力を入れ、部員達は練習前にかなりの時間をさいて弓道場の清掃に取り組んでいます。

近年の全国大会実績

（平成 6 年度以降、ほぼ毎年度インターハイもしくは全国選抜大会への出場実績がある）

【平成 28 年度】
・インターハイ（2016 情熱疾走 中国総体）　男子団体戦（第６位）出場
・第 35 回全国高等学校弓道選抜大会　女子個人戦出場
【平成 29 年度】
・インターハイ（はばたけ世界へ 南東北総体 2017）　男子個人戦出場、女子団体戦（ベスト 16）出場
・第 36 回全国高等学校弓道選抜大会　女子個人戦・団体戦出場
【平成 30 年度】
・第 73 回国民体育大会弓道競技　本校から１名が出場（遠的の部優勝）
・第 37 回全国高等学校弓道選抜大会　男子個人戦・団体戦（ベスト 16）出場、女子個人戦・団体戦出場
【令和元年度】
・インターハイ（感動は無限大 南部九州総体 2019）　男子個人戦・団体戦（ベスト 32）出場
・第 74 回国民体育大会弓道競技　本校から１名が出場
・第 38 回全国高等学校弓道選抜大会　男子個人戦・団体戦出場
【令和３年度】
・インターハイ（輝け君の汗と涙 北信越総体 2021）男子団体戦（ベスト 32）出場
・第 39 回全国高等学校弓道選抜大会　女子個人戦出場
【令和４年度】
・インターハイ（躍動の青い力 四国総体 2022）　男女団体戦および女子個人戦出場
・第 40 回全国高等学校弓道選抜大会　女子団体戦および男子個人戦出場
【令和５年度】
・インターハイ（翔び立て若き翼 北海道総体 2023）　女子団体戦および男子個人戦出場
・第 41 回全国高等学校弓道選抜大会　女子団体戦ベスト 16　女子個人戦出場
【令和６年度】
・インターハイ（ありがとうを強さに変えて　北部九州総体 2024）女子団体戦優勝　女子個人戦出場
・第 42 回全国高等学校弓道選抜大会　女子団体・女子個人戦出場
【令和７年度】
・インターハイ（輝け君の青春刻め努力の奇跡　中国総体 2025）女子団体戦出場（ベスト 16）